

一、従来の袴は色や、赤色に過ぎたるを改め黒すみたる薄老茶色とし紋柄は用ぬしめざる事

一、袴の素地はモスか若くはセーツに一定する事

一、徽章は自色細毛二線にして裾より上三寸五分乃至四寸の所に施す

一、衣服袖丈は一尺五寸に定むること

●山形縣幼稚園  
元來東北地方は幼稚園の數極めて少數なるが、今四月よりは全地に新に開設する由にて目下保母を尋ねつゝありとのことなり。

●足利幼稚園  
久しく保母に空位なりし全幼稚園も愈々本月より北野晴子(元羽田)氏赴仕して専ら盡力せらるゝ事になりたりといふ。

●野口幽香子氏  
華族女學校の同氏は此休暇中同校より大阪博覽會に出張を命ぜられ、本月二日下阪せりとのことなり。

奇聞一束

●波斯帝千六百餘人の妃を去る  
ニユーカヅル、クロニクルのコンスタンチノール通信に據れば波斯皇帝は、此程千七百人の皇妃中より千六百四十人に暇を賜ふと、比較的僅少なる六十人の妃と殘りの生涯を比較上の獨身者として送らるゝことに決せられ、暇を遣はされたる妃には、各二千圓を授けらるゝ筈なり、而して其多くは宮中官吏の妻妾たるべしと云ふ。

●鹽にて築きたる市街  
露國波蘭のクラコーに近きケルブルグと稱する一市街は地下に在るのみならず、市街の家屋は悉く岩鹽を以て築かれ、凡そ三千の人民は皆鹽業に従事居れり同市に於て殊に入目を驚かすものは同じく純白なる岩鹽を以て築かれたる大伽藍にして、電氣燈を點じたる光景の美麗なること想像に餘れり、露國の先帝は曾て此寺院に赴き此美を嘆稱して、殊に寶石入の燦爛たる祭壇を造らしめて、同寺に寄附したることあり、傳染病の如きは同市民の全く解せざるものにして、同市民には長命者頗る多しと云ふ。

●未婚者は健康ならず  
已婚者は未婚者より概して健康優るものなりとは、從來已に屢説明せられたることある問題なるが、今又英のホツフマンは千九百年の統計に據り、スペクテーター評論に於て其事實を證明して曰く、男女兩性の未婚者の死亡數に總ての年齢に於て(十五歳より四十四歳までの女子を除き)已婚者の死亡數より遙に多し、又男女の未婚者の死亡數は六十五歳以下の寡婦の死亡數より少し、六十五歳以上の寡婦に就きては明瞭ならず、男女の已婚者の死亡數は總ての年齢に於て寡婦の死亡